

第39期中間事業報告書

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

株式のご案内

決算期	3月31日
定時株主総会	6月に開催
同総会権利行使株主確定日	3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、当社ホームページ (http://www.consec.co.jp) に掲載しております。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同取次所	TELO120-094-777 (通話料無料) 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
単元未満株式の買取請求および買増請求	単元未満株式の買取請求および買増請求は、上記名義書換代理人事務取扱場所および取次所にて受付けております。 なお、株式会社証券保管振替機構をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

名義書換代理人の変更のお知らせ

当社の名義書換代理人「UFJ信託銀行株式会社」は、合併により、平成17年10月1日から「三菱UFJ信託銀行株式会社」に変更となっておりますので、ご留意ください。

ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp>



時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
グループ紹介	3
トピックス	4
連結財務情報	5
連結財務データ	7
単体財務情報	8
株式の状況	9
会社の概況	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、益々々清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに当社第39期中間期における営業報告書をお届けし、その概況につきましてご報告をかねて挨拶を申し上げます。

当中間期における我が国の経済は、民間設備投資が回復するなど景気の踊り場を脱却し、総体的に上昇傾向を示してまいりましたが、原油高に加えて為替動向や金利の先行きなど懸念材料がある中、依然として予断を許さない状況が続くと思われまます。

当社グループの関連する業界におきましても、最新設備への投資が積極的に進行する一方で、旧来設備の撤去工事にはアスベストやダイオキシンの問題など周囲の環境を重視した、より高度な厳しい工事技術レベルが求められてまいりました。

このような中、当社グループといたしましては無公害工事をめざし、音・振動・粉塵の出ない撤去工法に適應した製品開発とその提案・普及につとめ、受注を拡大してまいりました。また、中国子会社でダイヤモンドコーードリルの現地生産を推進し、諸外国への輸出を開始、初期受注も順調にすべりだしました。下半期は新機種のリニアアップも整え需要増加を図り、受注拡大を目指してまいります。介護サービス事業も順調に軌道に乗り、順次拡大を図っております。その結果、当中間期の決算状況は、売上高におきましては45億12百万円（前年同期比106.4%）となりました。損益面におきましては、徹底したコスト低減と営業費用の削減を推進し、収益体質の改善に取り組み、営業利益は34百万円（前年同期比205.7%）、経常利益は73百万円（前年同期比323.7%）と改善いたしました。しかしながら当中間期において「固定資産の減損に係る会計基準」を適用し、当社の保有

資産の一部において帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額2億94百万円を減損損失として、またキャドム店の一括賃貸に伴う、たな卸資産廃棄損など店舗整理損45百万円を特別損失に計上したため、誠に遺憾ながら中間純損失は2億85百万円となりました。

	[第39期中間期]	[第38期中間期]	[前年同期比]
売上高（連結）	4,512百万円	4,241百万円	106.4%
営業利益（連結）	34百万円	17百万円	205.7%
経常利益（連結）	73百万円	23百万円	323.7%
中間純利益（連結）	△285百万円	△16百万円	—

（注）中間純利益はマイナスのため対前年比を表示しておりません。

セグメント別の売上高は次のとおりです。

（単位：千円）

	第39期中間連結会計期間		第38期中間連結会計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
切削機具事業	1,662,058	36.8	1,658,691	39.1	3,367	0.2%
特殊工事業	572,352	12.7	463,817	10.9	108,535	23.4%
建設・生活関連事業	1,845,837	40.9	1,885,225	44.5	△39,387	△2.1%
その他の事業	432,081	9.6	233,595	5.5	198,485	85.0%
合計	4,512,329	100.0	4,241,329	100.0	271,000	6.4%

以上により、株主の皆様のご支援にそうよう鋭意努力してまいりましたが、誠に不本意ながらご期待通りの結果に至らず中間配当金につきましては、実施を見送らせて頂きたいと存じます。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

下半期の見通しにつきましては、原油高による原材料価格の上昇が続くものと予想される中、企業の生存競争は一層激しくなり、価格競争が更に厳しくなると思われ

ますが、当社グループとしましては、中国との為替動向にも対処しつつ、中国子会社による現地生産製品の国内輸入を柱にして、製品全体の徹底したコストダウンの実現をはかり、価格競争に耐え抜く企業競争力を向上させ、シェアの拡大とともに利益改善に全力でチャレンジし、収益体質を向上させてまいります。

またさらなる新規事業の開発も順次進行中であり、その具現化など、当社グループによる技術的なシナジー効果を一層高めながら、一致協力して新製品の開発を強化・推進し、管理面においても販売費及び一般管理費の圧縮につとめ、利益重視の効率経営に全力をあげてまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

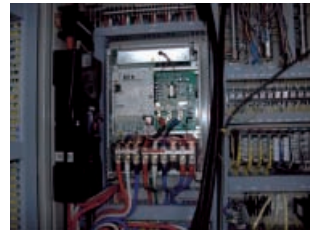
平成17年11月



代表取締役社長

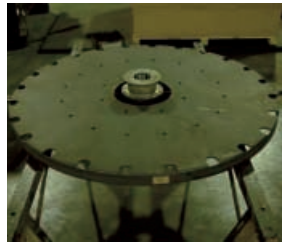
佐々木 孝隆

北斗電気工業株式会社



大型運搬機器や汎用ボイラなど、機械装置の頭脳ともいえる制御盤のシステム構築を中心に、幅広い分野で独自の発想と卓越したノウハウで時代のハイテク技術にお応えしております。

株式会社サン・ホクト



各種製缶・板金・自動制御盤・配電盤等箱体の製作およびパンチングマシンによる精密板金加工を行っております。

南通康賽克工程工具有限公司



平成16年6月に中国・江蘇省南通市にダイヤモンド切削機具生産の子会社を設立しました。南通市の工業団地内に工場は、2階建・一部3階の延床面積約2,700㎡にてダイヤモンド切削機具の主力商品でありますコアードリルの生産・販売を行っております。

株式会社サンライフ



「明るく」「笑顔で」「朗らかに」をモットーに、介護サービスを提供しています。利用者の方々に、入浴・食事・レクリエーション・機能訓練などの「通所介護（デイサービス）」や利用者の介護計画の作成およびサービス提供事業者との連絡調整の「居宅介護支援（ケアプランサービス）」を行っております。

祥建企業股份有限公司



台湾における当社製品の卸売、特殊工事のアドバイザー業務、機械部品等の輸出入業務および原油タンクの補修工事・防煙ガラスの据付工事等を行っております。

ダイヤモンドコアードリルSPN-160A

中国の子会社にて製造した第一弾のコアードリルが完成し、中国国内での販売および諸外国にも出荷を開始、今後日本国内においても販売を開始いたします。

ハイパワーモーターとアルミ合金を組み合わせた、クラス最強の軽量型コアードリルです。

狭所・高所での作業性を追求した機能と形態で、使い手を選ばない扱いやすさを実現しています。



連結貸借対照表

科 目	第39期中間期末	第38期中間期末
	平成17年9月30日現在	平成16年9月30日現在
資産の部		
流動資産	5,463	4,544
現金及び預金	849	690
受取手形及び売掛金等	2,549	2,190
有価証券	144	137
たな卸資産	1,446	1,401
繰延税金資産	285	22
その他	199	113
貸倒引当金	△ 9	△ 9
固定資産	7,029	7,727
有形固定資産	6,141	6,463
建物及び構築物	1,876	2,000
土地	4,089	4,289
その他	176	173
無形固定資産	51	30
投資その他の資産	837	1,234
投資有価証券	437	330
更生債権等	100	142
繰延税金資産	214	697
その他	201	225
貸倒引当金	△ 116	△ 159
資産合計	12,492	12,271

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

(単位:百万円)

科 目	第39期中間期末	第38期中間期末
	平成17年9月30日現在	平成16年9月30日現在
負債の部		
流動負債	3,350	3,230
支払手形及び買掛金等	1,990	1,873
短期借入金	1,125	1,190
未払法人税等	35	27
賞与引当金等	38	34
その他	162	106
固定負債	912	620
長期借入金	640	386
退職給付引当金	198	187
役員退職慰労引当金	25	20
連結調整勘定	4	6
その他	47	22
負債合計	4,262	3,851
少数株主持分	37	32
資本の部		
資本金	4,090	4,090
資本剰余金	4,352	4,352
利益剰余金	△ 153	101
その他有価証券評価差額金	△ 45	△ 103
為替換算調整勘定	△ 2	△ 5
自己株式	△ 50	△ 47
資本合計	8,193	8,388
負債、少数株主持分及び資本合計	12,492	12,271

連結損益計算書

科 目	第39期中間期	第38期中間期
	(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)	(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)
売上高	4,512	4,241
売上原価	3,497	3,281
販売費及び一般管理費	981	944
営業利益	34	17
営業外収益	55	39
営業外費用	16	33
経常利益	73	23
特別利益	20	7
特別損失	343	28
税金等調整前中間純利益	△ 250	1
法人税、住民税及び事業税	24	16
法人税等調整額	11	3
少数株主利益	△ 1	△ 2
中間純利益	△ 285	△ 16

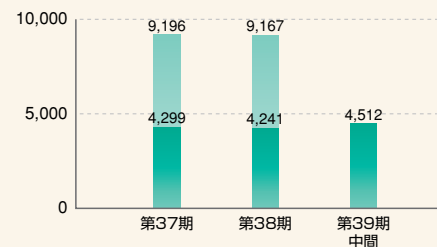
(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結剰余金計算書

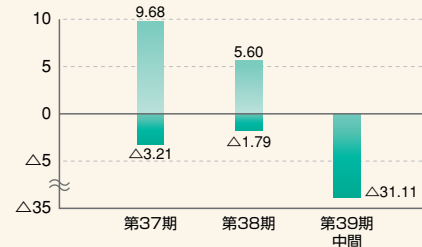
科 目	第39期中間期	第38期中間期
	(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)	(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)
【資本剰余金の部】		
資本剰余金期首残高	4,352	4,352
資本剰余金増加高	0	—
資本剰余金減少高	—	—
資本剰余金中間期末残高	4,352	4,352
【利益剰余金の部】		
利益剰余金期首残高	168	145
利益剰余金増加高	—	—
利益剰余金減少高	321	44
利益剰余金中間期末残高	△ 153	101

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

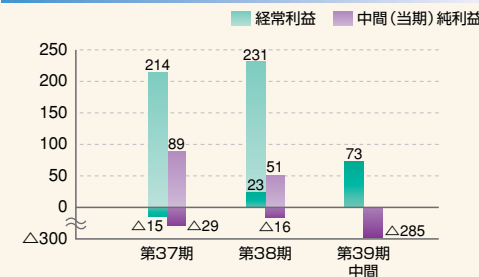
売上高 (単位:百万円)



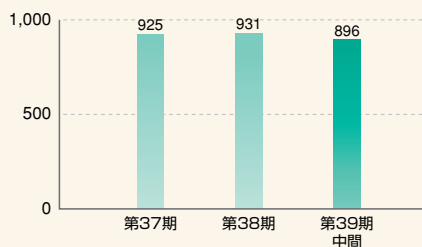
1株当たりの中間(当期)純利益 (単位:円)



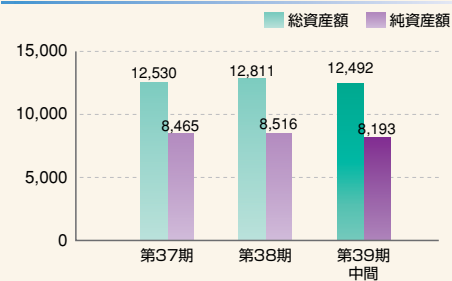
経常利益/中間(当期)純利益 (単位:百万円)



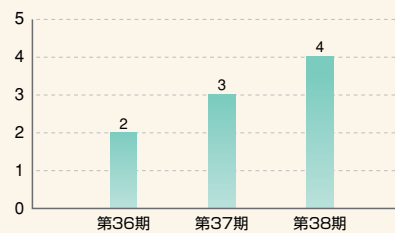
1株当たりの純資産 (単位:円)



総資産額/純資産額 (単位:百万円)



1株当たりの配当金 (単位:円)



要約貸借対照表

科目	(単位:百万円)	
	第39期中間期末 平成17年9月30日現在	第38期中間期末 平成16年9月30日現在
資産の部		
流動資産	5,009	4,224
固定資産	7,026	7,793
有形固定資産	6,003	6,370
無形固定資産	29	29
投資その他の資産	994	1,394
資産合計	12,036	12,017
負債・資本の部		
流動負債	3,003	3,061
固定負債	816	524
負債合計	3,819	3,585
資本金	4,090	4,090
資本剰余金	4,352	4,352
利益剰余金	△ 130	140
その他有価証券評価差額金	△ 46	△ 103
自己株式	△ 50	△ 47
資本合計	8,217	8,432
負債・資本合計	12,036	12,017

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

要約損益計算書

科目	(単位:百万円)	
	第39期中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	第38期中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益	4,002	3,958
営業費用	3,991	3,943
営業利益	11	15
営業外損益の部		
営業外収益	53	38
営業外費用	12	29
経常利益	52	24
特別損益の部		
特別利益	20	7
特別損失	343	26
税引前中間純利益	△ 271	5
法人税、住民税及び事業税	15	15
法人税等調整額	11	3
中間純利益	△ 298	△ 14
前期繰越利益	168	154
中間未処分利益	△ 130	140

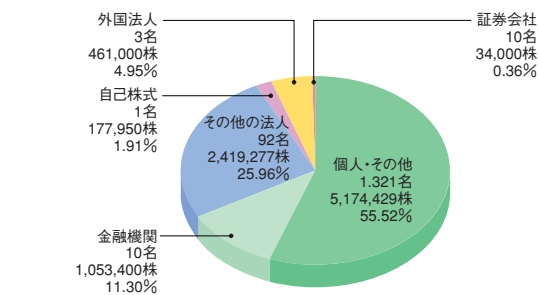
(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

会社が発行する株式の総数 14,300,000株
 発行済株式総数 9,320,056株
 株主数 1,436名
 大株主

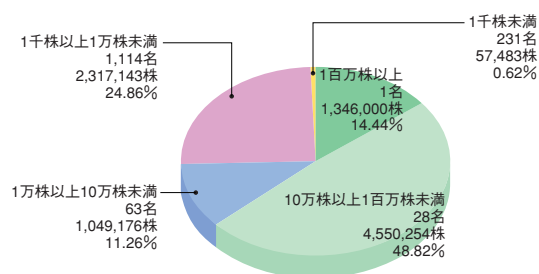
株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
日本鋳泉株式会社	1,346千株	14.9%
佐々木 秀 隆	480	5.3
コメルツバンクサウスイーストアジアリミテッド	455	5.0
コンセック従業員持株会	448	4.9
有限会社オカダ興産	320	3.5
株式会社損害保険ジャパン	217	2.4
株式会社もみじ銀行	171	1.8

(注) 当社は自己株式177,950株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

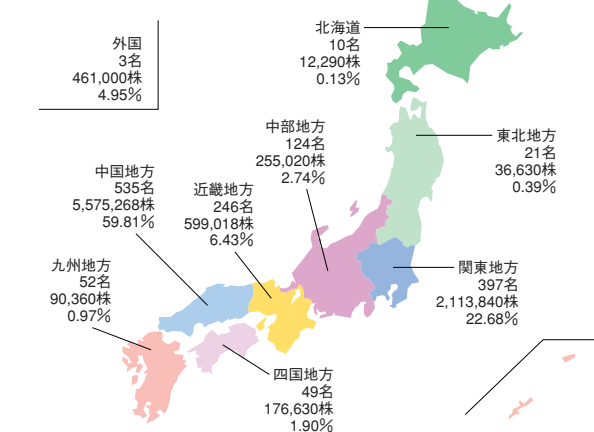
所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株式分布状況



会社の概要

商号 株式会社 コンセック
 英文名 CONSEC CORPORATION
 設立 昭和42年11月6日
 資本金 40億90百万円
 従業員数 247名
 ホームページ <http://www.consec.co.jp>
 連結子法人等 北斗電気工業株式会社 (広島県呉市)
 株式会社サン・ホクト (広島県呉市)
 株式会社サンライフ (広島市西区)
 南通康賽克工程工具有限公司 (中国・江蘇省南通市)
 祥建企業股份有限公司 (台湾・三重市)

主な事業内容 当社はつぎの物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っています。

〔切削機具事業〕
 穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品
 特注機、切削関連機具等

〔特殊工事業〕
 アンカー工事、コアボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事、ジベル工事等

〔建設・生活関連品事業〕
 建設機械・工具、建設資材、住宅・OA機器
 生活関連機器等、不動産施設賃貸

〔その他の事業〕
 自動制御盤、配電盤、製缶、
 精密板金加工、介護サービス等

ネットワーク

本社 広島市西区商工センター四丁目6番8号
 TEL (082) 277-5451
 支店 東京、大阪
 営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡、キャドム店他21ヶ所
 工場 広島工場
 物流センター 広島配送センター

役員

代表取締役社長 佐々木 秀 隆
 取締役 千田 稔
 取締役 福田 多喜二
 取締役 木曾 真理行
 常勤監査役 吉本文雄
 監査役 加藤 公敏
 監査役 中元 正彦